

九州沖縄農研所長キャラバン

2013年度に実施した所長キャラバン

農研機構 九州沖縄農業研究センターは関係者との意見交換を通じた研究成果のフォローアップ、普及現場における新たな技術ニーズの探索などを目的に「所長キャラバン」を行っています。

本年度は、4回の所長キャラバンを行いました。

畑輪作生産システム実証圃場キャラバン

2013年7月3日 宮崎県東諸県郡国富町

焼酎原料用サツマイモを小苗で機械挿苗する省力栽培実証圃場とパリセードグラスによる線虫抑制実証圃場を見学しました。小苗の機械挿苗では育苗方法で生育に差が生じることがありましたが、省力栽培につながる有望な技術と期待されています。パリセードグラスは牛のえさとして利用しながら後作の線虫被害も軽減できる新しい作付体系につながることを期待されています。



【URL】 http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/karc/047837.html

大菊(おおきく) 土地改良区水利システムの現状と課題、今後の研究展開

2013年9月18日 熊本県大津町、菊陽町

熊本市は白川中流域の転作田での湛水活動を助成し、地下水の涵養をすすめています。九州沖縄農業研究センターも湛水圃場の地力維持や圃場管理などの研究を関係機関と協力しながら取り組んでいます。「農を護る」ということが「環境を護る」ことにつながり、地域との連携した取り組みが「熊本の水を護る」活動の一翼を担うものと実感できるキャラバンでした。



【URL】 http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/karc/048919.html

べんがらモリブデンを用いた水稻湛水直播技術の現地試験

2013年7月31日 福岡県筑後市、佐賀県上峰町

水稻の低コスト栽培の鍵となる直播(直まき)栽培で苗立ちの改善を期待できる「モリブデン」を用いた現地試験圃場を見学しました。試験ではモリブデン化合物を酸化鉄(べんがら)とともにコーティングした「べんがらモリブデン」を使っています。見学した2カ所の現地ではともに良好な苗立ちでした。べんがらモリブデンコーティング種子を用いた直播栽培は発展途上の技術ですが、生育もおしなべて良好で生産者の期待も高いようです。



【URL】 http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/karc/048247.html

「おいCベリー」を栽培しているイチゴ生産組合との意見交換

2014年2月6日 長崎県南島原市加津佐町

いちごの生産性を向上させるクラウン温度制御装置を導入した実証圃場と「おいCベリー」を栽培している生産者の圃場を見学しました。圃場条件に合わせた低コスト型クラウン温度制御装置は暖房コストの削減などに効果的なことを確認できました。また、「ビタミンCが豊富」という特徴のある「おいCベリー」も販売が好調とのことでした。キャラバンでは、普及の鍵になりそうなコメントも聞くことができました。今後の技術開発に活かされることと思います。



【URL】 http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/karc/050684.html

九州沖縄農業研究センター
ニュース No.47
平成26年3月31日発行

編集・発行

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター広報普及室
〒861-1192 熊本県合志市須屋2421
TEL.096-242-7780,7530 FAX.096-249-1002
公式ウェブサイト <http://www.naro.affrc.go.jp/karc/>